第 3 回未来会議（全体会）　議事録

日時：令和 3 年 5 月 16 日（日）13:30～16:00

会場：西集会所

出席者：(順不同、敬称略)
　須都　紘（会長)、伊藤　智子、中谷内　政之（以上　副会長）
　鎌田　卓（事務局長)、鈴木　豊（書記・広報)、蔵田　かほり（会計）
　田口　信義、中世古　昭一、黒部　實、山地　祐輔、山田　勲、須田　健一、野津　拓也、
　黒田　勝行、福家　稔、谷猪　富貴子、山田　修、渡辺　昇
　　欠席：梅本　慎二郎（副会長）

配布資料：
　① 議題
　② 未来会議広報について
　③ 令和 3 年度役員名簿について

主な議事

須都会長より
・コロナ渦の深刻な状況が続いている。換気、消毒などを実施し、万全を期して会議を行うので、皆さんのご協力をお願いしたい。
・前回の未来会議で承認を受けた広報紙「みらい」も発行され、未来会議のサイトも立ち上がっている。
・住民の皆さんからは、未来会議に期待する温かい声をいただいている。この声にしっかり応えられるよう、知恵を出して行動に移していきたい。

鹿ノ台中期ビジョンの提案
　※前回、未発表であった 6 名より提案を受けた。
　山地構成員より
・鹿ノ台には奈良先端科学技術大学院大学（以下「NAIST」と表記）とけいはんな学研都市に隣接している強みがある。高齢者の移動手段として自動運転の実証に取り組むなど、先端技術を活用したトライアルに取り組んではどうか。
・生駒市と連携することにより、このような取組みに対して鹿ノ台が積極的であることをしっかりアピールしていく。
・有効な技術があれば、検証後も地域で使い続けていけばよい。
・また NAIST では、子供がサイエンスを学べる研修会を開催している。学校では習わないことが勉強でき、人気も高い。鹿ノ台にも様々な知識をお持ちの方がおられるので、子供

達に教える仕組みができれば、教育水準が高いと評価され、子育て世代に鹿ノ台を選んでもらえることにつながっていく。

谷猪構成員より

・鹿ノ台は高齢化が進む中でコロナ渦もあって、高齢者が外に出にくい状況が続いている。
・この状況では認知症が増える恐れがある。声掛けや見守りなど、地域内での横の繋がりによる優しい街づくりが大切ではないか。
・子供については、幼稚園・保育園から中学校までが地域内にあるため、通学路の安全が確保されている。通学中の見守り活動はこれからも続けていただきたい。
・コミュニティ・スクールの取組みも 5 月から開始されており、地域と学校が両輪となって活動を続けていくことになる。
・鹿ノ台は教育熱心であるという評価を得ている。地域の協力を得て、子供の居場所づくりを考えていきたい。

野津構成員より

・空き家が増えると、鹿ノ台は危険な街になりかねない。そうならないよう、これからも子育て世代に転入してもらうことが重要ではないか。生駒市も子育て世代を呼び込む情報発信を続けており、この方針にも沿っている。
・転入先として鹿ノ台の名前が上がるよう、鹿ノ台をブランド化する取組みが必要。
・鹿ノ台には公園がたくさんあるが、今の子供たちは家の中に閉じこもり、公園で遊ぶことが減っている。子供たちが安全に遊べるように見守る環境を作り、子供の声が公園に溢れる街にしたい。

渡辺構成員より

・鹿ノ台ににぎわいをもたらすために、様々な取組みを行いたい。
・英語サロンでは鹿ノ台の人に話をしてもらっている。こういうことができる人は鹿ノ台にたくさん居る。
・写真クラブ展の参加者の半数は鹿ノ台以外からであり、他の地域の方とコミュニケーションが取れた。生駒市内の他のクラブにも呼びかけて、活性化を図っていきたい。
・鹿ノ台を音楽が溢れる街にしたい。戸外でよいからいきいきホールに演奏できるスペースができれば、たくさん演奏会を開くことができる。他の地域の音楽祭には何万人も集まっているので、鹿ノ台で音楽祭を開くことができれば、商店街の活性化にもつながる。
・幅広くイベントを開催し、「絶えず何かやっている街」を目指したい。

福家構成員より

・鹿ノ台に 75 歳以上は 1,500 人おられ、人口の約 22%である。65 歳以上では 2,900 人となり、人口の 41%を占めることになる。今の 70 歳の方の平均余命は男性 16 年、女性 20 年だが、平均余命と健康余命との差も男性で 9 年、女性で 12 年あると言われ、健康でない状態が長い。また、認知症は 80 歳で 4 割、90 歳だと 6 割に出てくるという。
・このような厳しい現実を踏まえ、地域全体で高齢者を助け合う仕組みを作る必要があるが、今は担当する団体ごとに縦割りであり、情報共有できていない現状である。

・コロナワクチンも申し込めない方もおられるので、皆が声掛けするなど、身近なことからきめ細かく活動していくことがまず必要だと思う。

黒部構成員より

・やるべきことはいろいろあると思うが、「未来会議でやるべきこと」というと、やはり 20 年後、30 年後にも若い人が入ってきて循環する街を目指すべきだと思う。

・高齢者だけの街となり若い人がいなくなってしまうと、例えば学校は無くなるだろう。あとには介護施設ができることになるだろうが、鹿ノ台がそのような街になってしまってよいのだろうか。

・このようなことにならないよう、若い人が転入先として鹿ノ台を選ばなかった理由はなにか、他の地域は鹿ノ台に比べてどこが良かったのかなどを調べ、しっかり分析することが大切だと思う。

・不動産事業者に鹿ノ台のことを理解してもらい、転入を検討している若い人に説明してもらうのがよい。

・未来会議は、鹿ノ台に住みたいと思う要因を抽出・分析し、目標を設定して実行する会議であると思う。

意見／質疑

・教育の話題が出たが、これからは先端技術の悪用を防ぐためにも、倫理観についての教育が必要である。

→ 生駒市では、倫理観やいのちの問題も授業に組み込まれることになっている。

・そんな大きな話にするのではなく、身近なところから「助け合う街づくり」をめざせばよいのではないか。「共助」の考え方が地域に醸成されれば、街全体が良くなると思う。

・教育や街の緑は、誰かに作ってもらうものではなく、自分たちで作るもの。地域が子供を育てている。

・鹿ノ台のことを不動産事業者がどのように説明しているのか知りたい。業者が鹿ノ台の良いところをしっかり PR できるような働きかけが必要。

→ 同居世代が増えていくなかで、鹿ノ台の建ぺい率（40%）と容積率（60%）が他の住宅地よりも厳しいことはデメリットである。

→ 不動産事業者への対策は必要だが、その場しのぎの対策ではすぐに他の地域に追いつかれてしまう。先を見据えた対策が必要。

・かつての鹿ノ台は自己完結の街であったが、今は銀行が無くなるなど、歯抜けの街になりつつある。

・一方で空き家が出てもすぐに買い手がつく地域もある。空き家が草茫々で放置されているようでは買い手もつかない。誰かに頼るのではなく、できる人が自分たちで動くことが大切。

・いろいろと課題がでたが、大きく区分けすると「助け合いの仕組みを作ること」と、「人口を減らさないこと」ということになるのではないか。

若い構成員からの意見

・現役世代からは自治会活動が活発だと負担になるという声を聴くことがある。働いている中でいろいろやるのは辛い。

・教育水準の高さと環境の良さに惹かれて鹿ノ台に引っ越してきた。今はネットで各学校の進学率など教育水準を知ることができる。ネットの影響力は大きい。

・共働きなので、駅まで歩いて行ける鹿ノ台を選んだ。駅から大阪市内までのアクセスも良い。スーパーがあるなど、地域で完結していることも評価した。

・地域全体の課題を扱う会議にも関わらず、生駒市の参画が少ない。住民だけでは対応に限界がある。生駒市にも課題を共有してもらうべきである。

→ 未来会議設置の報告書は、生駒市に説明してある。

須都会長より

・前回と今回で十分に意見交換ができた。出てきた多種多様な意見について、いったん幹事会でとりまとめに着手したい。

・そのうえで次回は、課題と対策についての検討にも進んでいきたい。

→ 生駒市にはSDGs推進課がある。SDGsの視点でまとめる手もある。

→ 未来会議は実行までやりきる部隊。対応可能なことに絞ってたたき台を作っていく必要があるのではないか。

→ 住民の期待は大きい。すぐにできることを示すことも大切。

未来会議の広報について

未来会議のWebサイト

・広報紙「みらい」はすでに回覧済である。これに間に合うよう未来会議のWebサイトをアップしているが暫定的なものであり、改めて広報担当より未来会議のロゴとサイトのデザインを提案した。

・未来会議のロゴは、緑の楕円が「住環境が良く活力のある鹿ノ台」を示し、未来会議のフォントを敢えて手書き風にすることにより、みんなの知恵による手作りの未来会議であることを示した。

・また、鹿ノ台の未来を象徴する写真として、女性、男性、高齢者、若い人、子供すべてが前を向いて笑っている写真を選んだ。

→ 承認。

Webサイトに掲載する資料

・構成員名簿を未来会議のサイトに掲載するかどうかを検討した。

→ Webサイトに氏名が掲載されたことをめぐってトラブルに発展した事例を踏まえ、サイトには構成員名を掲載しないこととした（住民の皆さんに回覧している広報紙には構成員名を掲載済）。

・未来会議に提出された資料について、前回の会議で「積極的に情報を発信し、検討の経過を理解してもらうとともに、意思決定のプロセスをしっかり納得してもらう」という観点

から原則として会議の資料をすべて Web サイトに公開することとしたが、改めてどこまで Web サイトで公開するかを検討した。

・会議に提出された資料は、口頭での説明を加えることを前提に作成された資料であり、説明抜きで Web サイトに公開されると資料に記載された未決定事項などが文脈を離れて伝わり、住民の皆さんの誤解などを招く恐れがあるなどの意見が出た。

→ 資料そのものは Web サイトに公開しないこととした。ただし、検討の経過と結果が住民の皆さんに的確に伝わるよう、議事録にしっかり記述し、これを Web サイトで公開することとした。

→ また会議に提出された資料は連合会事務所に配備しておき、自治会員であれば閲覧可能とすることとした。

連合会役員名簿への掲載について

・連合会役員名簿に、未来会議の構成員をどのように掲載するかを検討した。

・役員名簿は重要なコミュケーションツールであるという意見が出る一方で、個人情報の流出を避けるために住所と電話番号は非掲載としたいという意向が数人から表明された。

→ 名簿には構成員全員の氏名を掲載するが、住所と電話番号については、非掲載の意向を持つ構成員は掲載しないことに決定した。

その他

・未来会議の銀行口座は開設済。コピーカードも作成済。

・先日、奈良 TV の取材を受けた ECOKA オープンガーデンの放映日時は、5 月 20 日（木）放送「ゆうドキ」中、18:00～19:00 の間（うち 9 分程度）となった。

次回

日時

6 月 20 日（日）13:30 - 15:30

会場

西集会所

主な議題（案）

1. 鹿ノ台中期まちづくりの課題と対策
   ※各構成員において作成し、6 月 6 日（日）までに須都会長に提出すること
2. その他

以上